

令和7年度第2回 留萌市子ども・子育て会議

と き：令和7年12月1日（月） 午後6時30分から

ところ：留萌市役所 3・4号会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）会長・副会長の選任について・・・・・・・・・・資料1

3 報告事項

（1）こども計画策定に向けたアンケート調査について（速報値）
・・・・・・・・・・資料2

（2）認定こども園等利用状況について・・・・・・・・・・資料3

4 情報提供事項

（1）こども110番の取り組みについて・・・・・・・・・・資料4

（2）春日児童センターの廃止について・・・・・・・・・・資料7

5 その他（意見交換）

6 閉 会

【添付資料】

留萌市子ども・子育て会議運営要領・・・・・・・・・・資料5

留萌市子ども・子育て会議委員名簿・・・・・・・・・・資料6

会長・副会長の選任について

	氏 名
会 長	
副 会 長	

資料2

留萌市子どもの生活アンケート（小学5年生・中学2年生・保護者） 若者アンケート（高校生世代～34歳） 結果概要（速報）

- 1 調査時期 ①子どもの生活アンケート：令和7年9月2日～9月26日
②若者アンケート：令和7年8月25日～9月22日

2 配付・回答状況

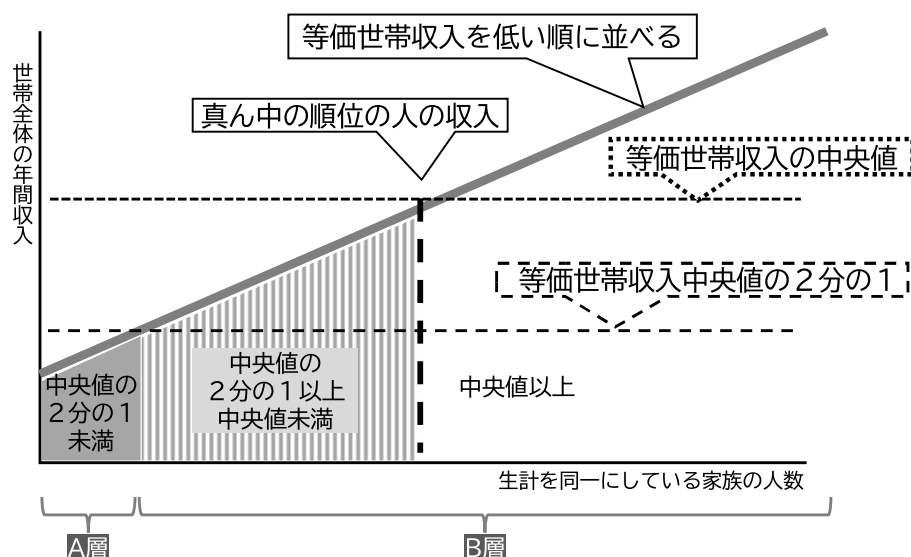
		配付数	有効回答数	有効回答率
①	小学5年生の児童	121 票	120 票	99.2%
	中学2年生の生徒	135 票	115 票	85.2%
	小学5年生・中学2年生の保護者	256 票	148 票	57.8%
②	若者	1,000 票	278 票	27.8%

3 子どもの生活アンケートにおける経済的な状況の分類

保護者への「(問13) 世帯全体のおおよその年間収入」と「(問2) 生計を同一にしている家族の人数」から等価世帯収入の中央値を求め、「中央値の2分の1未満」と、「中央値以上」及び「中央値の2分の1以上中央値未満」を分類（国調査と同様の考え方）。

報告では「中央値の2分の1未満」を「A層」、それ以外を「B層」と表現している。

等価世帯収入＝世帯全体の年間収入を、同居家族の人数の平方根で除す



今回調査における分類で、A層は保護者で16人（判定できた人の10.8%）、小学5年生で6人（同5.0%）、中学2年生で8人（同7.0%）となる。経済的状況別のクロス集計では、A層のn値（回答者数）が少ない中での結果となっていることに留意が必要。

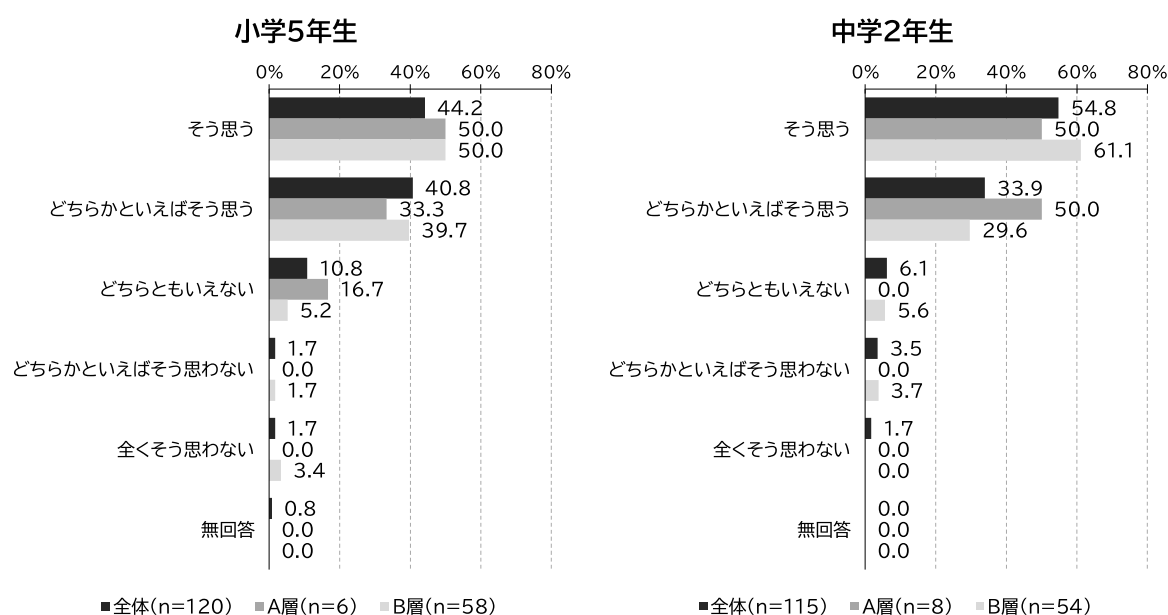
子ども(小学5年生・中学2年生) 結果概要

こどもの意見の尊重

問 15 自分の意見や考えは、まわりの大人の人にきちんと聞いてもらえていると思うか

小学5年生全体では、「そう思う」が44.2%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」が40.8%、「どちらともいえない」が10.8%。

中学2年生全体では、「そう思う」が54.8%、「どちらかといえばそう思う」が33.9%、「どちらともいえない」が6.1%。

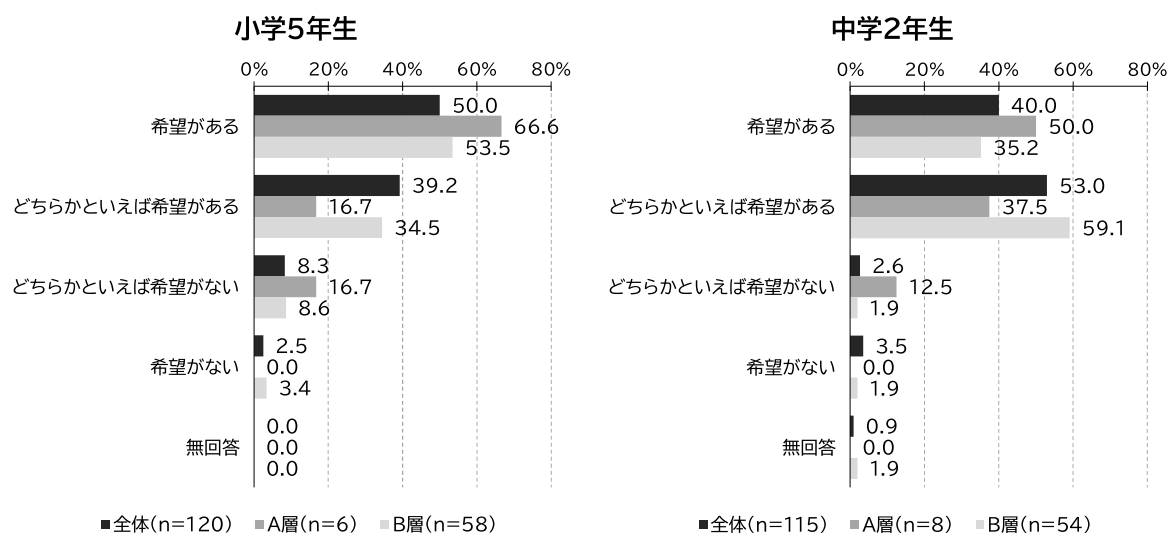


将来の希望

問 17 自分の将来について明るい希望があると思うか

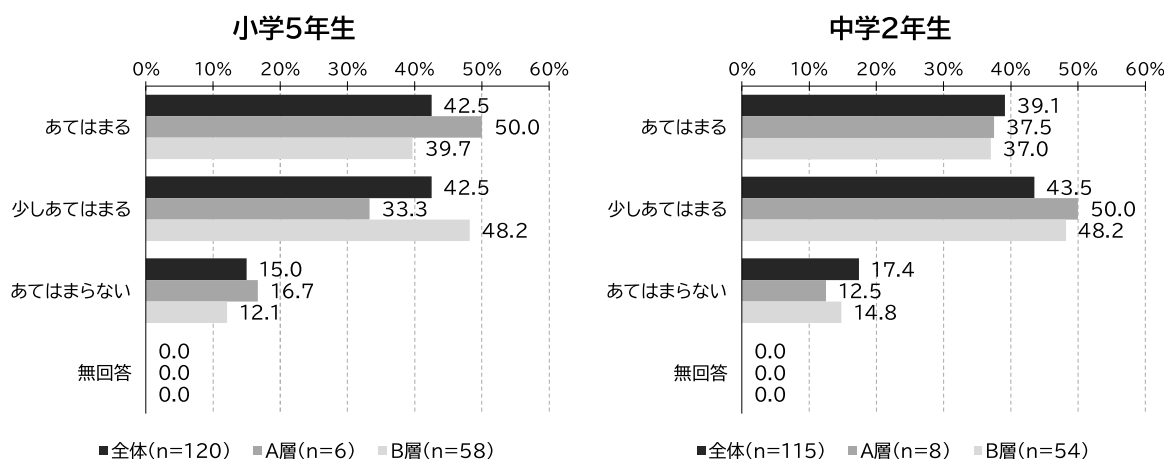
小学5年生全体では、「希望がある」が50.0%と最も多く、「どちらかといえば希望がある」が39.2%、「どちらかといえば希望がない」が8.3%。

中学2年生全体では、「どちらかといえば希望がある」が53.0%と最も多く、「希望がある」が40.0%、「希望がない」が3.5%。



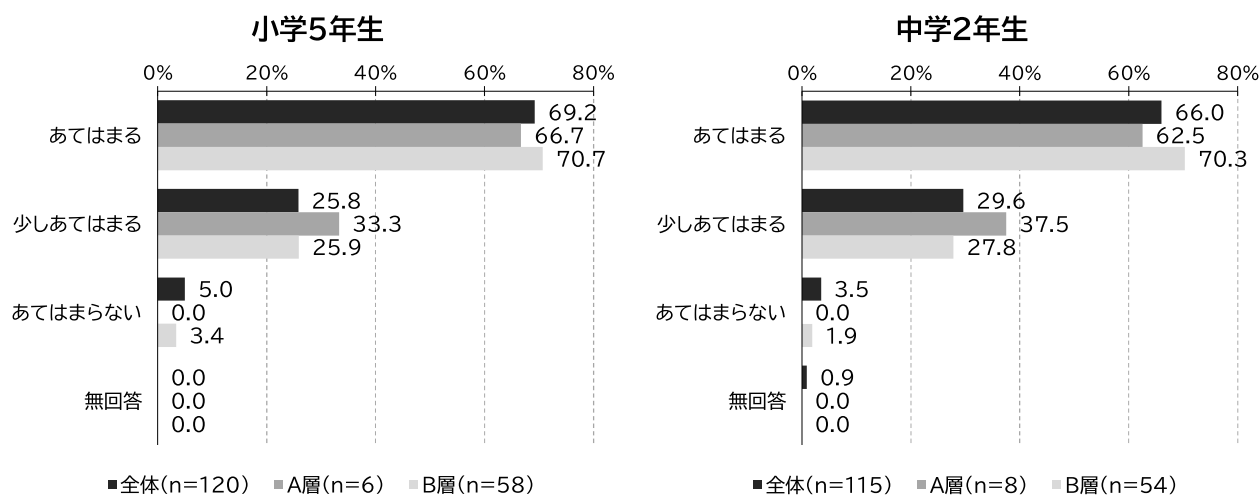
問 18 次の質問にあてはまるか c) 今の自分が好きだと思う

小学5年生全体では、「あてはまる」及び「少しあてはまる」が 42.5%と最も多く、「あてはまらない」が 15.0%。中学2年生全体では、「少しあてはまる」が 43.5%と最も多く、「あてはまる」が 39.1%、「あてはまらない」が 17.4%。



問 18 次の質問にあてはまるか d) 自分には「自分らしさ」というものがあると思う

小学5年生全体では、「あてはまる」が 69.2%と最も多く、「少しあてはまる」が 25.8%、「あてはまらない」が 5.0%。中学2年生全体では、「あてはまる」が 66.0%と最も多く、「少しあてはまる」が 29.6%、「あてはまらない」が 3.5%。

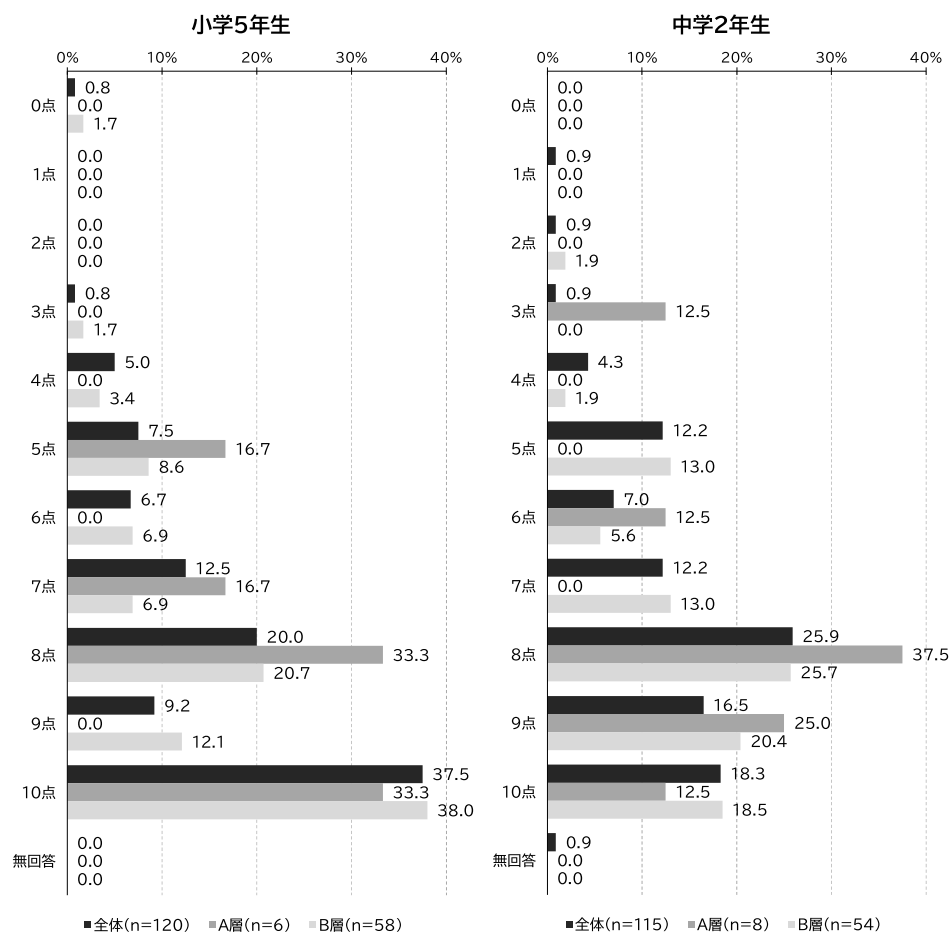


生活の満足度

問 16 全体として、最近の生活に、10 点満点でどのくらい満足しているか

小学 5 年生全体では、「10 点」が 37.5%と最も多く、「8 点」が 20.0%、「7 点」が 12.5%。

中学 2 年生全体では、「8 点」が 25.9%と最も多く、「10 点」が 18.3%、「9 点」が 16.5%。



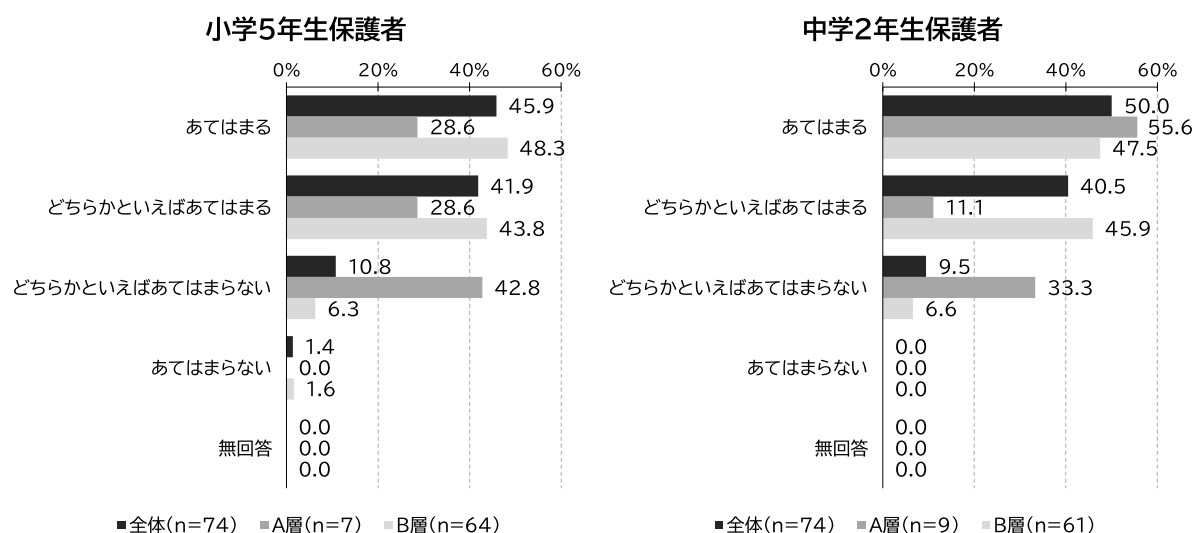
保護者(小学5年生・中学2年生) 結果概要

こどもとの関わり

問6 こどもとの関わり方について d) お子さんと、勉強や成績のことについて話をしている

小学5年生保護者全体では、「あてはまる」が45.9%と最も多く、「どちらかといえばあてはまる」が41.9%、「どちらかといえばあてはまらない」が10.8%。

中学2年生保護者全体では、「あてはまる」が50.0%と最も多く、「どちらかといえばあてはまる」が40.5%、「どちらかといえばあてはまらない」が9.5%。

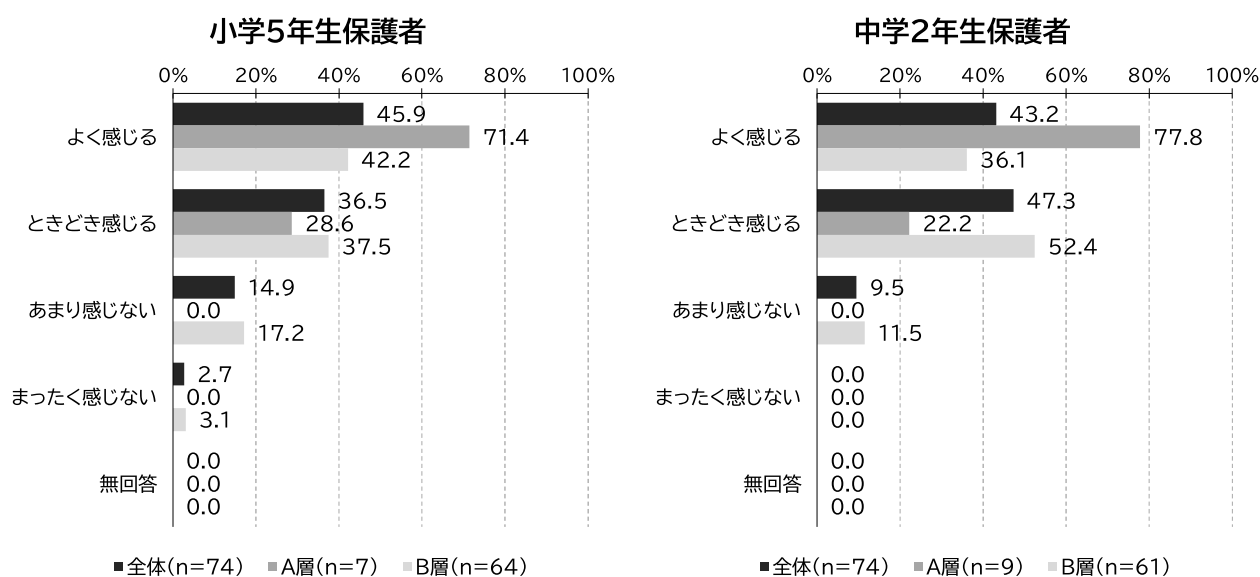


子育てにかかる経済的な負担感

問7 こどもとの生活の中で次のようなことを感じるか e) 子育てにかかる経済的な負担を感じる

小学5年生保護者全体では、「よく感じる」が45.9%と最も多く、「ときどき感じる」が36.5%、「あまり感じない」が14.9%。

中学2年生保護者全体では、「ときどき感じる」が47.3%と最も多く、「よく感じる」が43.2%、「あまり感じない」が9.5%。

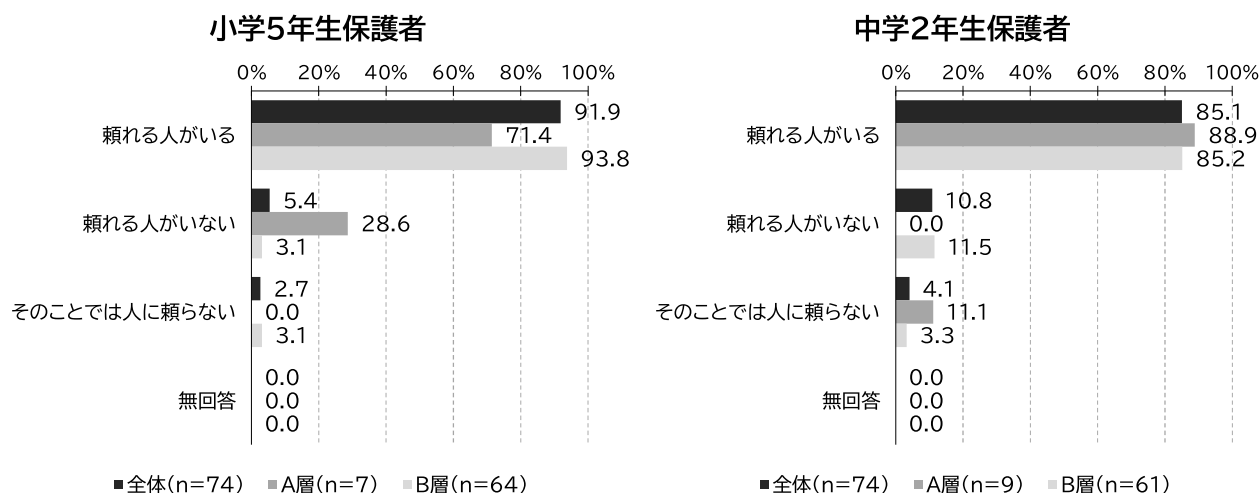


子育て当事者の孤立感

問 11 次のことで頼れる人はいるか a) 子育てに関する相談

小学５年生保護者全体では、「頼れる人がいる」が 91.9%と最も多く、「頼れる人がいない」が 5.4%、「そのことでは人に頼らない」が 2.7%。

中学２年生保護者全体では、「頼れる人がいる」が 85.1%と最も多く、「頼れる人がいない」が 10.8%、「そのことでは人に頼らない」が 4.1%。



こどもの幸せのための課題

問 21 留萌市が、全ての子どもが幸せに暮らせる社会になるためには

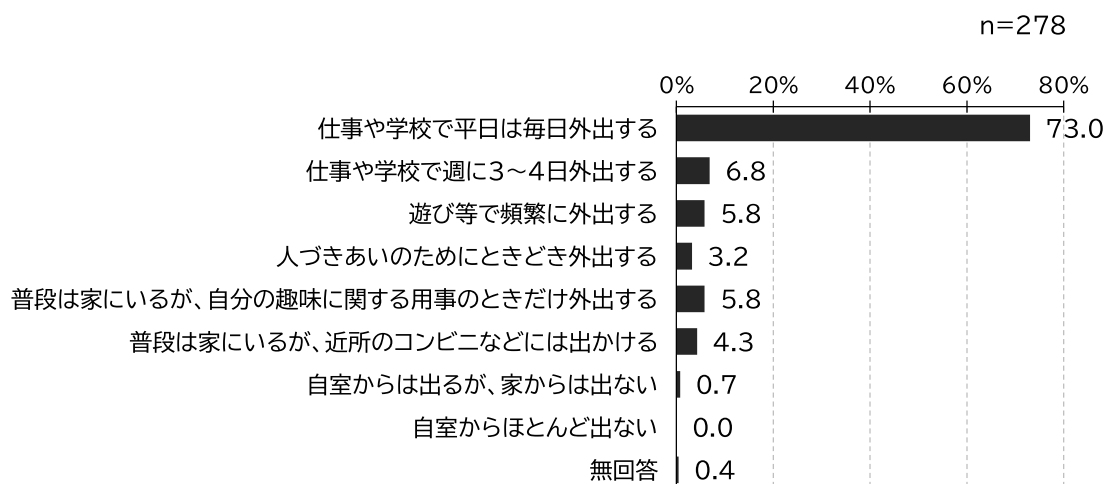
カテゴリー	主な意見内容	同様意見 (概数)
公園・遊び場・居場所の充実	遊具の壊れた公園が多い／子どもが自由に遊べる場所が少ない／屋内施設・児童館の整備／Wi-Fi・学習・交流ができる空間	約 25 件
経済的支援・無償化の拡充	教材費・制服費・給食費・保育料などの無償化／現金給付や手当拡充／進学・習い事費用の助成	約 20 件
子育て世帯・親支援	就労支援・送迎支援・母子家庭支援・ストレス軽減／親が笑顔でいられる環境づくり	約 15 件
学習支援・教育環境の充実	放課後の学習支援／特進クラス設置／先生の負担軽減／教育格差是正／習い事支援	約 10 件
娯楽・文化・スポーツ施設の拡充	子どもが楽しめる施設を求める声（映画館・ゲームセンター・スキー場・通年プール等）	約 10 件
子どもの多様な居場所・関係づくり	学校・家庭以外の居場所／多世代交流の場／子どもの個性や得意を伸ばす支援（ギフテッド教育等）	約 10 件
交通・生活環境整備	スキー用品・習い事の送迎負担軽減／交通費・燃料費補助／トイレ整備等の生活環境改善	約 10 件
地域の魅力づくり・将来の希望形成	地元で誇れる特色・活動を増やす／職業体験・地域交流	約 10 件
福祉・医療・介護支援の充実	障がい・介護福祉・医療体制の整備／家庭支援と連携する体制づくり	約 5 件

若者(高校生世代～34歳) 結果概要

普段の外出の状況

問8 普段どのくらい外出するか

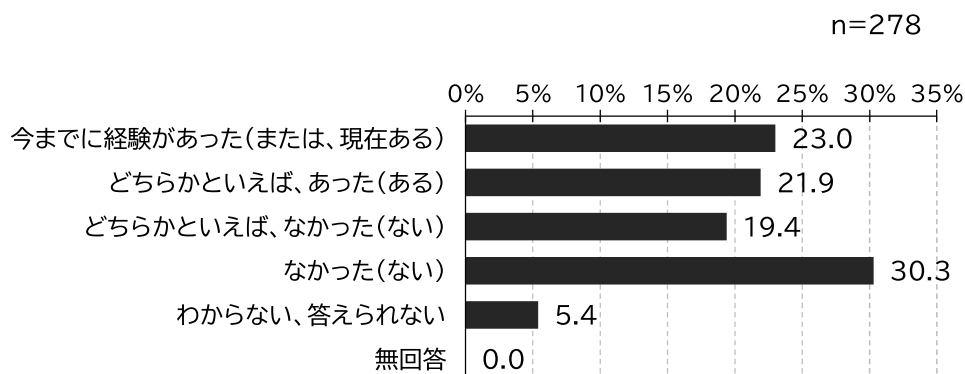
「仕事や学校で平日は毎日外出する」が73.0%と最も多く、「仕事や学校で週に3～4日外出する」が6.8%、「遊び等で頻繁に外出する」及び「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が5.8%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が4.3%。



社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験・状況

問13 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験、状況があるか

「なかった（ない）」が30.3%と最も多く、「今までに経験があった（または、現在ある）」が23.0%、「どちらかといえば、あった（ある）」が21.9%、「どちらかといえば、なかった（ない）」が19.4%。

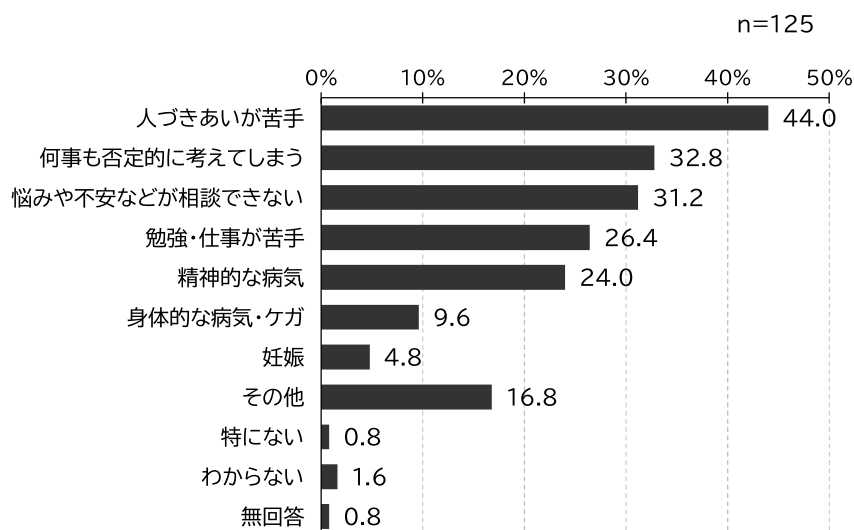


問 13 で「今までに経験があった(または、現在ある)」、「どちらかといえば、あった(ある)」と答えた方

問 13-1 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因

「人づきあいが苦手」が 44.0%と最も多く、「何事も否定的に考えてしまう」が 32.8%、「悩みや不安などが相談できない」が 31.2%、「勉強・仕事が苦手」が 26.4%、「精神的な病気」が 24.0%。

年齢別にみると、「人づきあいが苦手」は 15 歳～19 歳では 6 割を超え、他の年齢層より高い。



	合計	人づきあいが苦手	精神的な病気	身体的な病気・ケガ	妊娠	何事も否定的に考えてしまう	勉強・仕事が苦手	悩みや不安などが相談できない	その他	特にない	わからない	無回答
(%)												
全体	125	44.0	24.0	9.6	4.8	32.8	26.4	31.2	16.8	0.8	1.6	0.8
男性	53	43.4	18.9	15.1	0.0	24.5	20.8	20.8	15.1	1.9	3.8	0.0
女性	69	43.5	26.1	5.8	8.7	39.1	30.4	37.7	17.4	0.0	0.0	1.4
答えたくない・答えない	2	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15歳～19歳	27	66.7	22.2	7.4	0.0	25.9	37.0	25.9	7.4	0.0	0.0	0.0
20歳～24歳	17	41.2	29.4	11.8	0.0	41.2	23.5	35.3	23.5	0.0	0.0	0.0
25歳～29歳	40	32.5	25.0	12.5	7.5	40.0	27.5	40.0	12.5	2.5	5.0	0.0
30歳～34歳	40	40.0	22.5	7.5	7.5	27.5	20.0	22.5	22.5	0.0	0.0	2.5

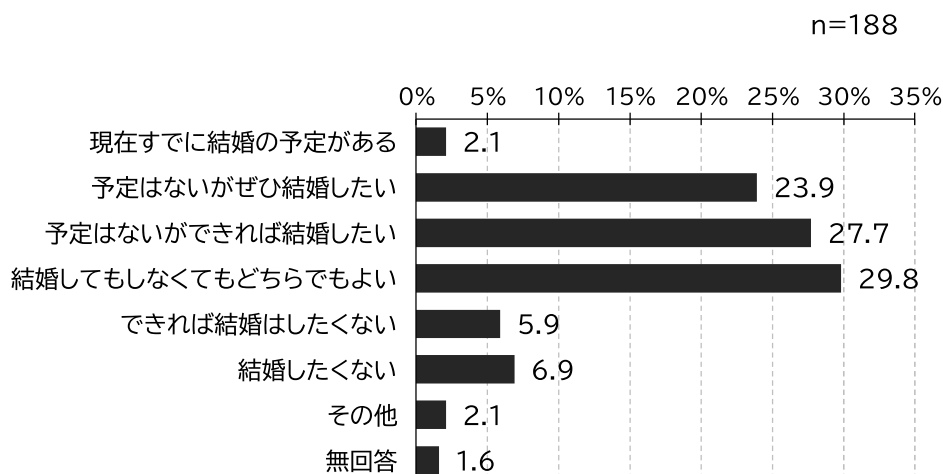
結婚観

「配偶者・恋人はいない(未婚)」 「配偶者はいないが恋人はいる(未婚)」方

問 17-2 結婚についてどのように考えているか

「結婚してもしなくてもどちらでもよい」が 29.8%と最も多く、「予定はないができれば結婚したい」が 27.7%、「予定はないがぜひ結婚したい」が 23.9%、「結婚したくない」が 6.9%、「できれば結婚はしたくない」が 5.9%。

年齢別にみると、25 歳～29 歳では「結婚してもしなくてもどちらでもよい」が 4 割を超えて、他の年齢層より高い。



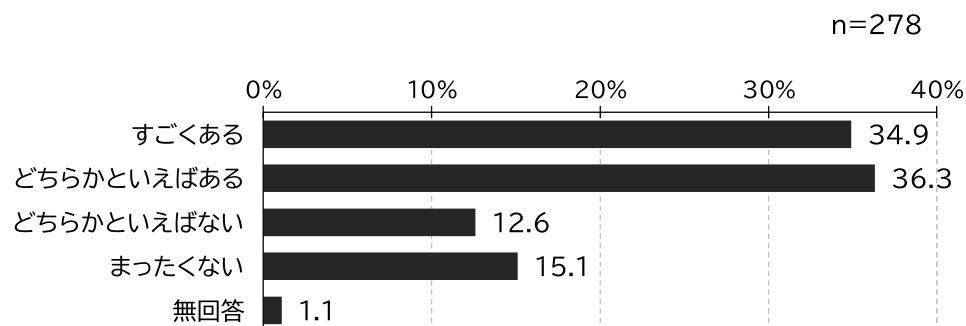
	合計	現在すでに結婚の予定がある	予定はないがぜひ結婚したい	予定はないができれば結婚したい	結婚してもしなくてもどちらでもよい	できれば結婚はしたくない	結婚したくない	その他	無回答
(%)									
全体	188	2.1	23.9	27.7	29.8	5.9	6.9	2.1	1.6
男性	103	2.9	27.2	22.3	30.1	6.8	6.8	3.9	0.0
女性	82	1.2	19.5	34.1	30.5	4.9	6.1	0.0	3.7
答えたくない・答えない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
15歳～19歳	73	0.0	26.0	27.4	28.9	6.8	4.1	2.7	4.1
20歳～24歳	36	5.6	25.0	33.2	16.7	5.6	11.1	2.8	0.0
25歳～29歳	53	1.9	18.9	26.4	43.3	3.8	3.8	1.9	0.0
30歳～34歳	25	4.0	28.0	20.0	24.0	8.0	16.0	0.0	0.0

こどもをもつことについて

問 19 「将来子どもが欲しい」または「もっと子どもが欲しい」という気持ちはあるか

「どちらかといえばある」が 36.3% と最も多く、「すごくある」が 34.9%、「まったくない」が 15.1%、「どちらかといえばない」が 12.6%。

性別でみると、「すごくある」は男性の方が、「まったくない」は女性の方が高くなっている。



	合計	すごくある	どちらか といえ ばある	どちらか といえ ばない	まったく ない	無回答
(%)						
全体	278	34.9	36.3	12.6	15.1	1.1
男性	139	38.9	33.8	15.8	11.5	0.0
女性	135	31.1	38.6	9.6	18.5	2.2
答えたくない・答えない	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
15歳～19歳	73	24.7	42.4	15.1	16.4	1.4
20歳～24歳	37	32.5	32.4	10.8	24.3	0.0
25歳～29歳	89	41.6	30.3	13.5	12.4	2.2
30歳～34歳	78	37.2	39.7	10.3	12.8	0.0

〔報告事項〕

令和7年度 認定こども園等利用状況

令和7年11月1日現在

■認定こども園（広域入所は除く）

施設名 【利用定員】		年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計
		配置基準	3：1	6：1		15：1	25：1		
認定こども園 （幼稚園型）	かもめ幼稚園 【80人】	入所児童			5人	28人	16人	27人	76人
		（教育）			(4人)	(11人)	(9人)	(11人)	(35人)
		（保育）			(1人)	(17人)	(7人)	(16人)	(41人)
		待機児童			0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童			0人	0人	0人	0人	0人
	留萌聖園 幼稚園 【60人】	入所児童			5人	12人	15人	15人	47人
		（教育）			(3人)	(7人)	(8人)	(7人)	(25人)
		（保育）			(2人)	(5人)	(7人)	(8人)	(22人)
		待機児童			0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童			0人	0人	0人	0人	0人
認定こども園 （保育所型）	沖見保育園 【90人】	入所児童	7人	9人	16人	21人	20人	21人	94人
		（教育）			(1人)	(4人)	(2人)	(2人)	(9人)
		（保育）	(7人)	(9人)	(15人)	(17人)	(18人)	(19人)	(85人)
		待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	みどり保育園 【120人】	入所児童	6人	18人	21人	24人	25人	30人	124人
		（教育）			(0人)	(4人)	(1人)	(2人)	(7人)
		（保育）	(6人)	(18人)	(21人)	(20人)	(24人)	(28人)	(117人)
		待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
小計 【360人】		入所児童	13人	27人	47人	85人	76人	93人	341人
		待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人

■小規模保育事業所

施設名 【利用定員】		年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計
		配置基準	3：1	6：1		15：1	25：1		
小規模保育所	すまい留 【19人】	入所児童	7人	7人	9人				23人
		待機児童	0人	0人	0人				0人
		潜在待機児童	0人	0人	0人				0人

■全施設合計

全施設		年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
		認定児童	21人	34人	56人	85人	76人	93人	365人
		入所児童	20人	34人	56人	85人	76人	93人	364人
		（教育）			(8人)	(26人)	(20人)	(22人)	(76人)
		（保育）	(20人)	(34人)	(48人)	(59人)	(56人)	(71人)	(288人)
		待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		潜在待機児童	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人

〔情報提供事項〕**こども110番に係る取り組みについて****1 取り組みの目的と現状**

こども110番の取り組みは子ども達が身に危険を感じた時に避難する場所を確保する目的で、平成12年7月より開始しており、平成28年3月末時点で4,573件の賛同をいただいていたが、名簿の整理が行われていなかったことに加え、空き家が増加・子ども達が見知らぬ家へ駆け込むことへの抵抗感などの課題があり、制度の見直しが必要な状況である。

2 課題

- ・ 地域住民の高齢化
- ・ 高齢者の就労により日中不在となることが多い
- ・ 空き家の増加
- ・ 子ども達の見知らぬ家へ駆け込むことへの抵抗感

3 令和7年度の取り組み

- ・ 留萌小学校区にて先行的に整理を実施（資料4－2参照）
 - 事業所・店舗に建物を絞り協力を依頼。
- ・ 町内回覧にてこども110番の整理に関する周知を実施
- ・ 留萌小学校児童・沖見郵便局に協力をいただき駆け込み訓練を実施
- ・ ステッカーの作成（年度内に配布予定）

4 令和8年度以降の取り組み

留萌小学校区の整理を基に、他の小学校区へ範囲を広げ、令和9年度までに整理を完了させる。

留萌小学校区通学路

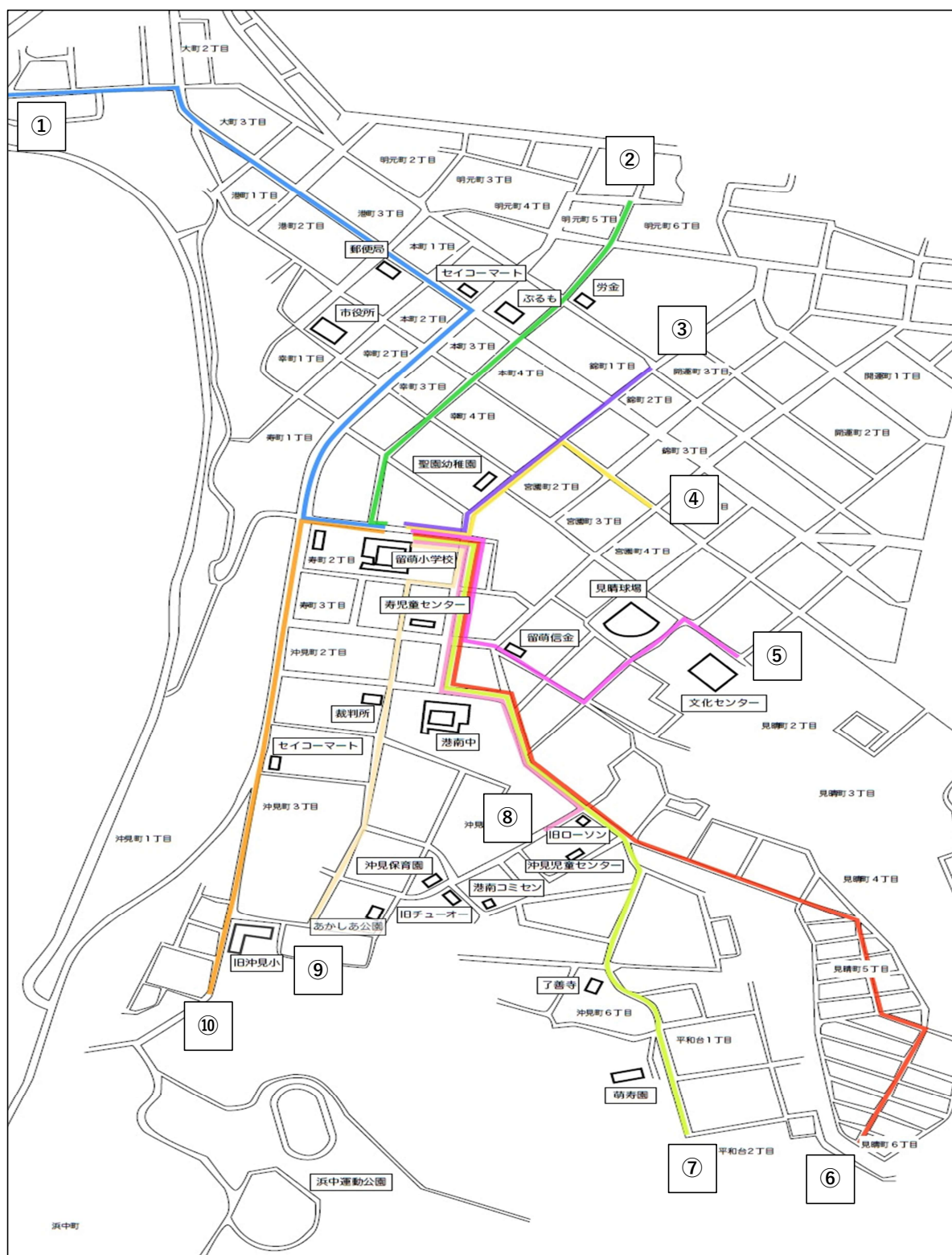
こども110番の家一覧





(案)



留萌市教育員会子育て支援課


留萌小学校校区通学路全体図と通学路番号



通学路番号	色	通学路番号	色	通学路番号	色
①		⑤		⑨	
②		⑥		⑩	
③		⑦			
④		⑧			

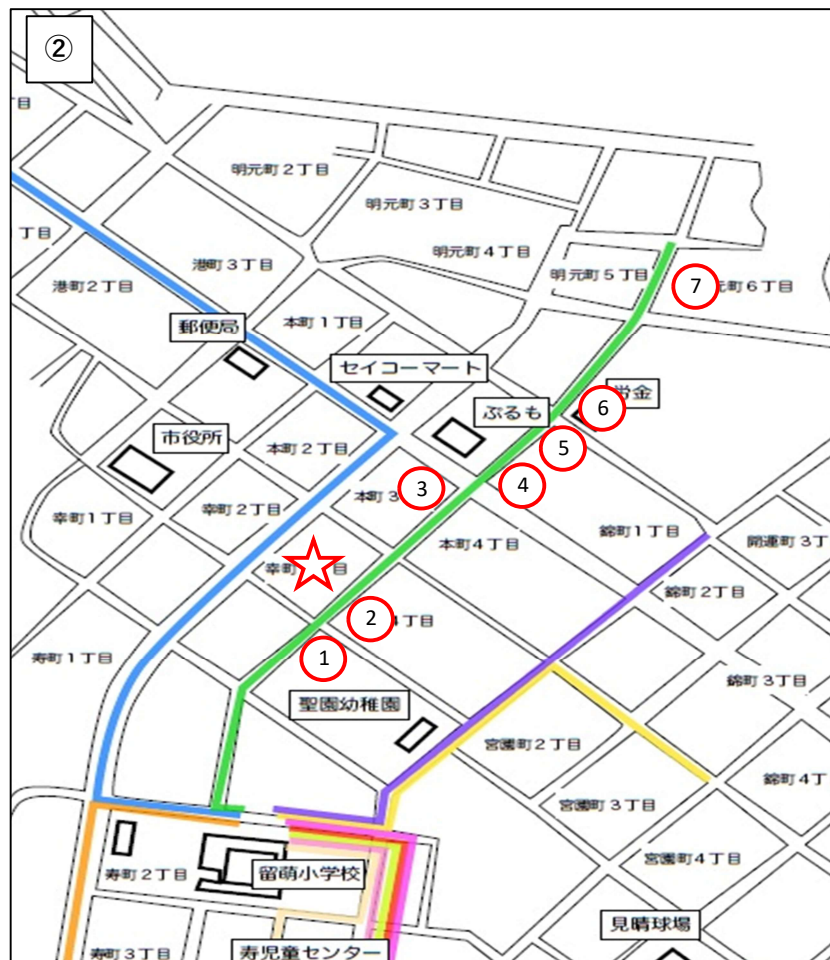
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧




通学路番号	色
①	

番号	区分	名前	郵便番号	住所
①－１	事業所	(有) 蛭名電機工業所	077-0038	寿町1丁目42-3
①－２	事業所	アップワード	077-0038	寿町2丁目8-2
①－３	事業所	(株) 正喜商会	077-0031	幸町3丁目26
①－４	店舗	理容さじ	077-0045	本町3丁目46-1
①－５	店舗	札幌海鮮丸	077-0045	本町3丁目33
①－６	店舗	セイコーマート留萌本町店	077-0045	本町2丁目15-1
①－７	店舗	ホリ電器	077-0045	本町2丁目18-3
①－８	店舗	留萌郵便局 本局	077-0045	本町1丁目38
①－９	店舗	武藤商店	077-0046	港町2丁目29
①－10	店舗	カレー大将	077-0048	大町3丁目36-5
①－11	事業所	留萌測量設計 (株)	077-0048	大町3丁目17-1
①－12	事業所	留萌公共職業安定所	077-0048	大町2丁目12

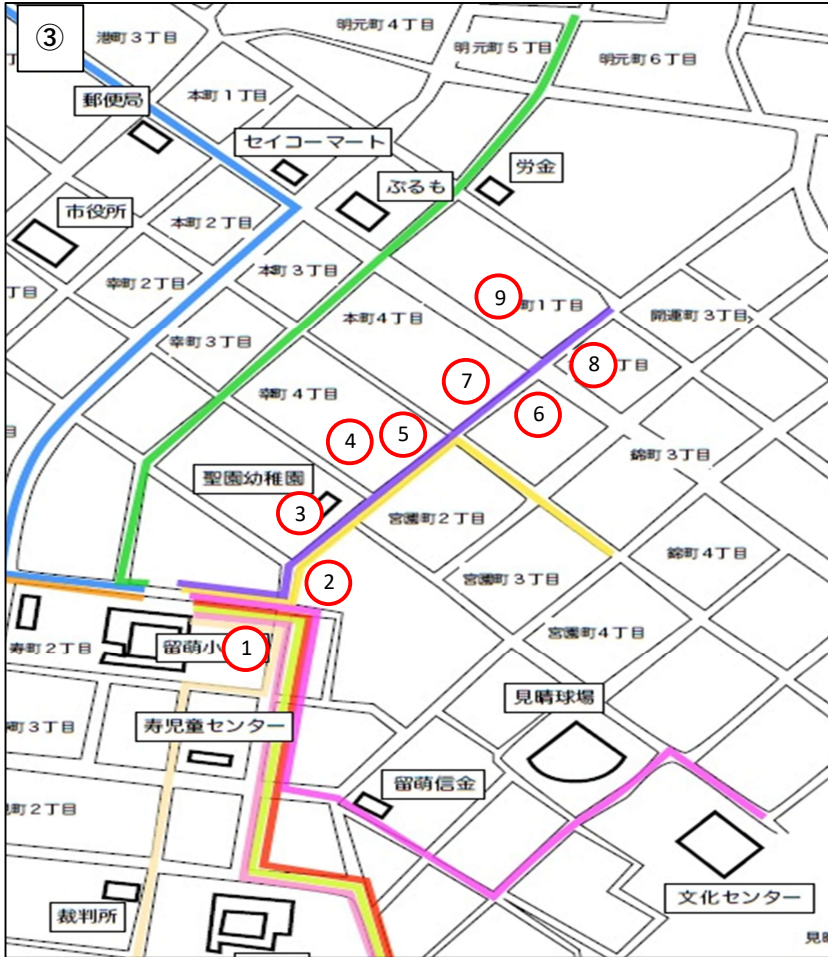
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧




通学路番号	色
②	

番号	区分	名前	郵便番号	住所
②－１	店舗	(株) 浜本商店幸町直売所	077-0031	幸町4丁目11-1
★	交番	幸町交番	077-0031	幸町3丁目12-3
②－２	店舗	ヘアーサロンマツモト	077-0031	幸町4丁目6
②－３	店舗	北洋銀行留萌支店	077-0045	本町3丁目38
②－４	店舗	留萌信用金庫中央支店	077-0045	本町4丁目13
②－５	店舗	(株) 行徳石材本町店	077-0045	本町4丁目3
②－６	事業所	消費生活センター	077-0041	明元町6丁目22-7
②－７	事業所	(株) 赤沼商会	077-0041	明元町6丁目8-13
②－８				
②－９				
②－10				
②－11				
②－12				

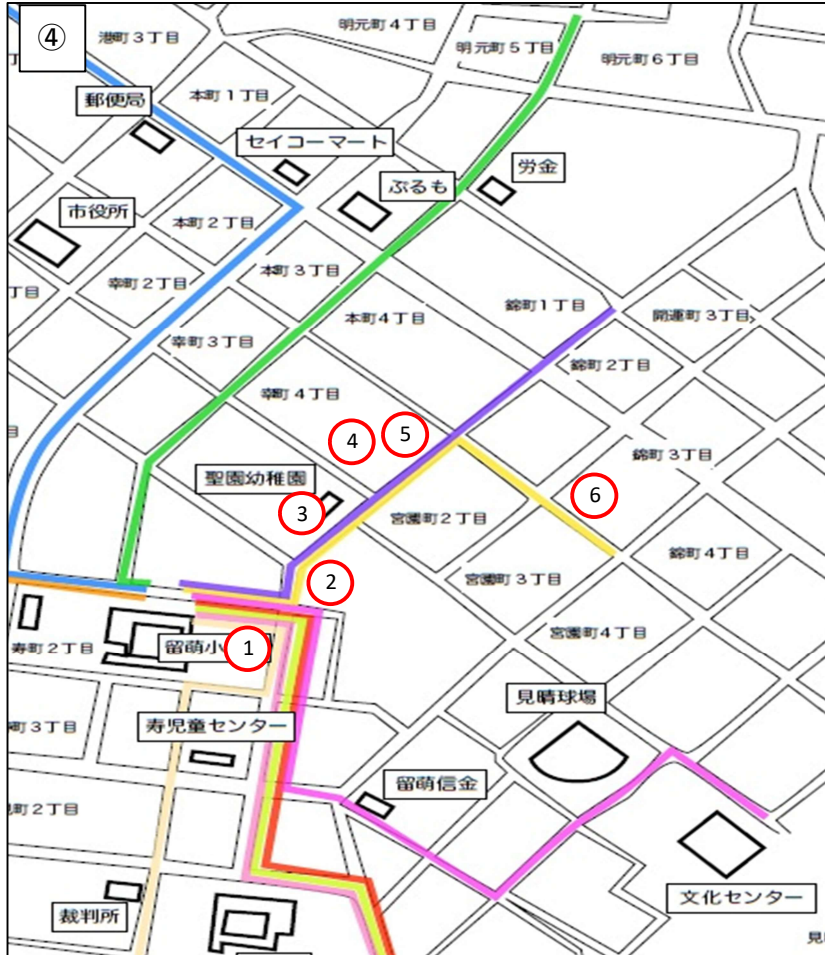
留萌留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧



通学路番号	色
③	

[illegible]

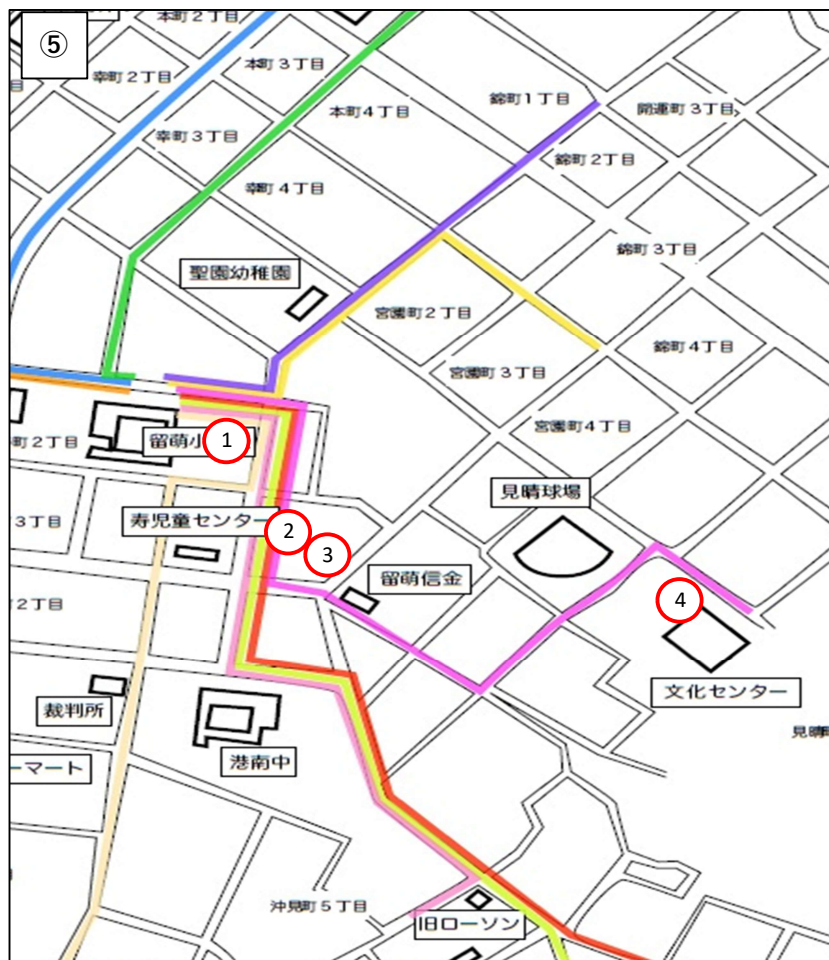
留萌留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧




通学路番号	色
④	

[illegible]

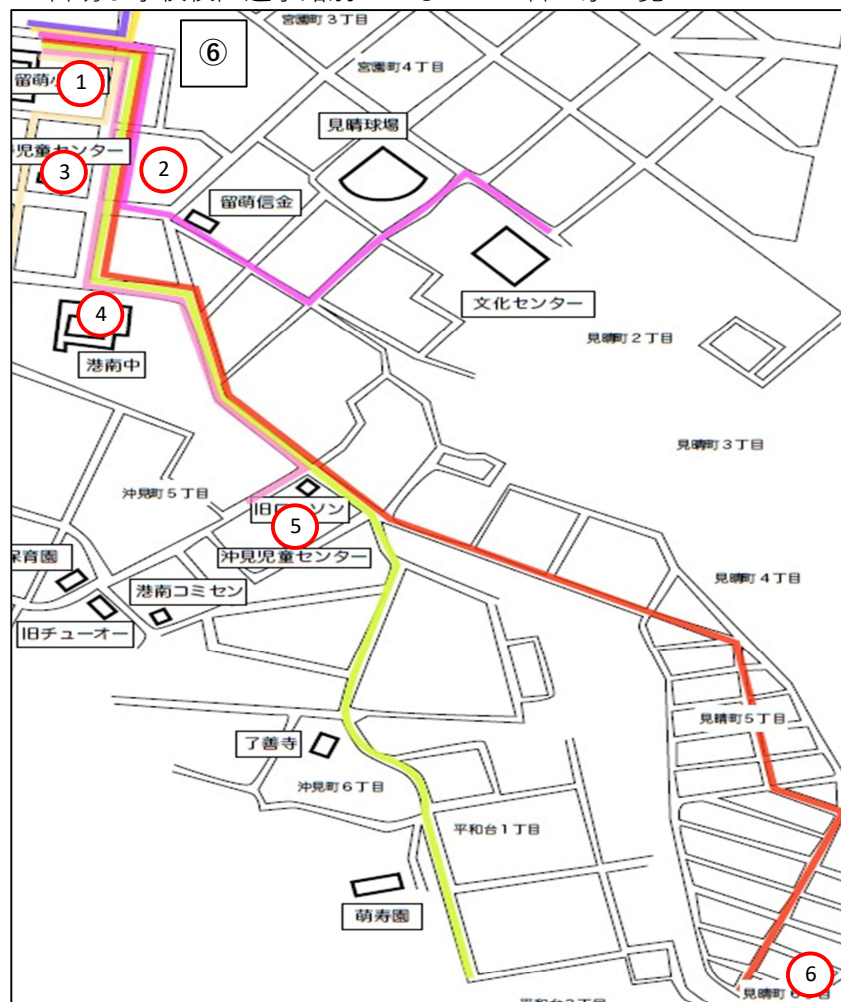
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧



通学路番号	色
⑤	

[illegible]

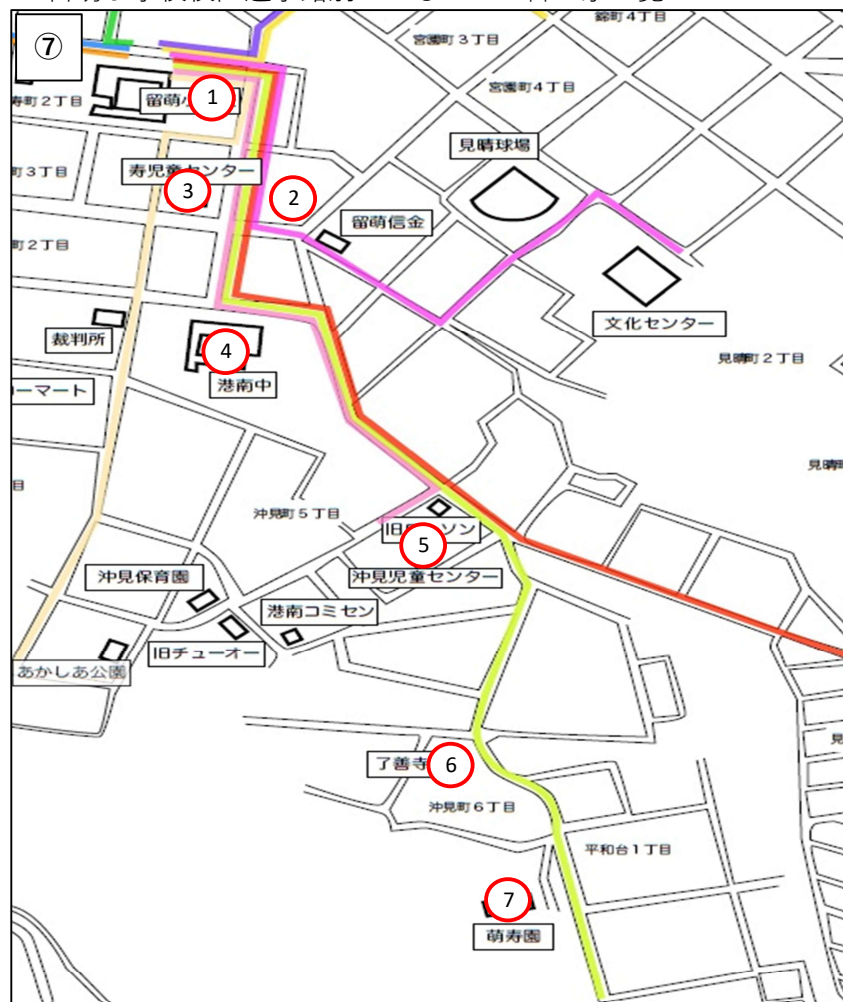
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧



通学路番号	色
⑥	

[illegible]

留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧



通学路番号	色
⑦	

[illegible]

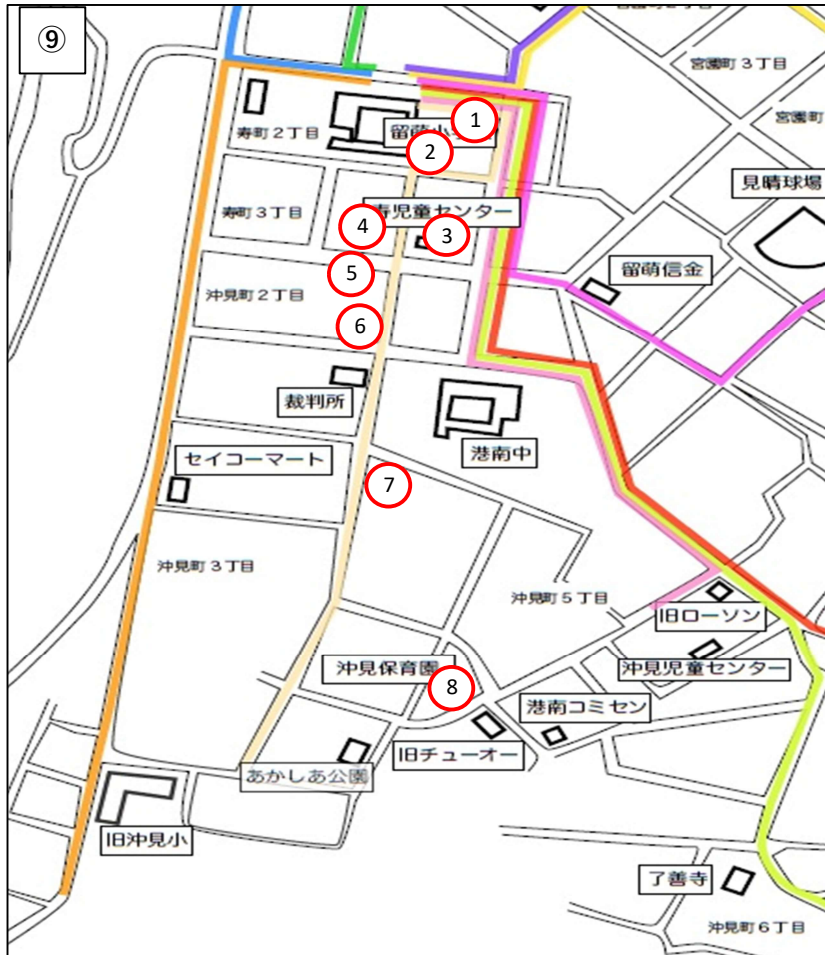
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧




通学路番号	色
⑧	

[illegible]

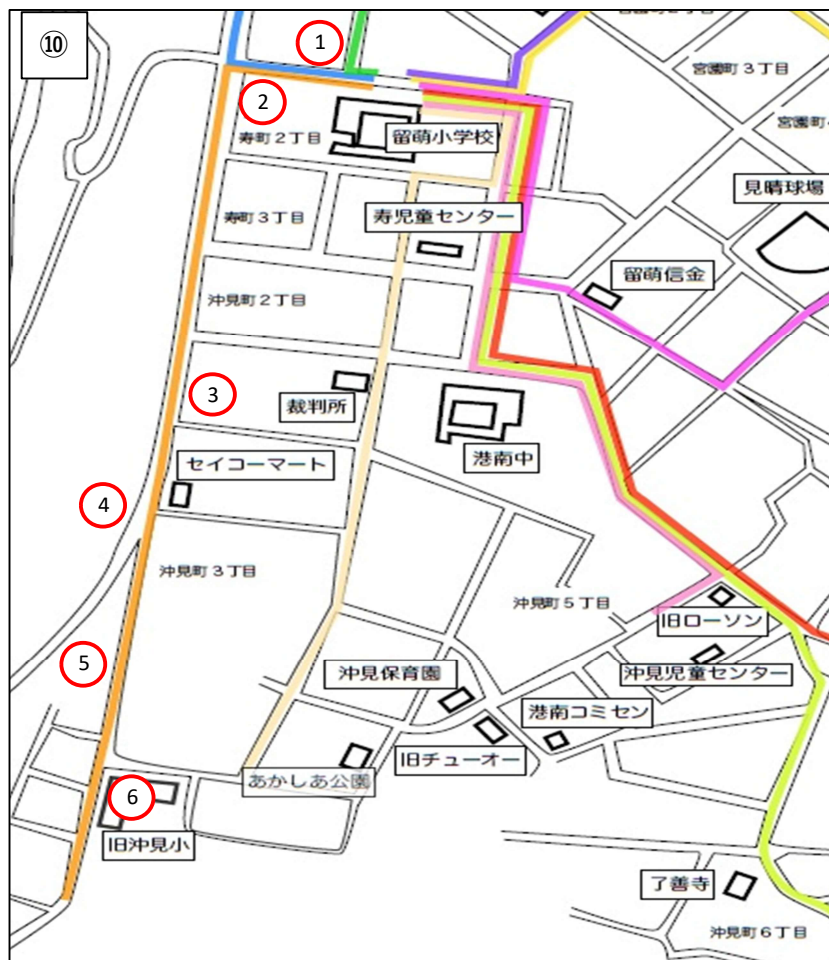
留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧




通学路番号	色
⑨	

[illegible]

留萌小学校校区通学路別こども110番の家一覧



通学路番号	色
⑩	

[illegible]

春日児童センターの廃止について

1 経過

春日児童センターにおいては、利用人数の減少により、令和6年度から小学校の長期休業期間中の月曜日から金曜日のみの開館としているところである。

この度の浄化槽点検において、水位低下による点検不適合が示され、浄化槽の入れ替えが必要となったところであるが、入れ替えには高額のコストがかかる状況である。

2 廃止の理由

- ・ 春日地区の児童数が減少しているため。(令和7年10月1日現在1世帯2名)
- ・ 施設設備の整備(浄化槽)に多額の費用(1千万円超)が必要となるため。

3 廃止後の対応

現在港北小学校留守家庭児童会は、港北小学校の児童室や体育館、グラウンドで対応しており、春日児童センターの廃止後の長期休業中においても、同施設での対応を予定している。

留守家庭児童会を利用していない小学生も自由来館利用できるよう、港北小学校と協議済。

4 その他

- ・ 廃止に関し、利用者等への説明を実施するとともに、子どもたちが港北小学校の児童室を気軽に利用できるよう取り組む。
- ・ 令和7年度末の廃止に向け、留萌市議会第4回定例会において留萌市児童館条例の一部改正を提案予定。

留萌市子ども・子育て会議運営要領

(趣旨)

第1条 この要領は、留萌市子ども・子育て会議の会議（以下「会議」という。）の運営に関して必要な事項を定める。

(会議の周知)

第2条 会長は、会議を招集しようとするときは、あらかじめ、日時、場所及び議題を委員に通知するものとする。

(代理人の出席等)

第3条 会長は、委員が会議に出席できない場合であって、当該委員からあらかじめ申し出があったときは、代理人の出席を認めることができる。

2 代理人は、会議に出席し、発言することができる。

3 代理出席した者には、報酬を支給しないものとする。

(会議の公開等)

第4条 会議は公開とする。ただし、会長は、公開することにより公平かつ中立的な審議に著しい支障を及ぼす恐れがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議を非公開とすることができる。

2 会長は、会議における秩序の維持のため、傍聴人の退場を命ずる等、必要な措置を行うことができる。

(議事録)

第5条 会長は、次に掲げる事項を記載した議事録を作成するものとする。

(1) 会議の開催日時及び場所

(2) 出席した委員の氏名（代理人が出席した場合は、その旨を含む。）

(3) 議事の経過及び概要

(4) その他必要な事項

2 前項の議事録には、会長が指名した2名の委員が署名するものとする。

3 議事録及び配布資料は公開とする。ただし、会長は、公開することにより公平かつ中立的な審議に著しい支障を及ぼす恐れがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、議事録及び配布資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

(専門部会)

第6条 第2条から第5項までの規定は、専門部会の運営について準用する。この場合において、「会議」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

附 則

この要領は、平成25年11月1日から施行する。

資料6

留萌市子ども・子育て会議委員（任期：R7.11.1～R9.10.31）

番号	団体名	役職	氏名
1	公募委員		堀口 千晶（再）
2	公募委員		金子 麻綾（新）
3	公募委員		長谷川 桃子（新）
4	学校法人 旭川カトリック学園 認定こども園 留萌聖園幼稚園	副園長	峨家 麻美子（再）
5	学校法人 萌愛学園 認定こども園 かもめ幼稚園	園長	福士 恵里子（再）
6	社会福祉法人 留萌萌幼会	みどり保育園 園長	竹内 美和（再）
7	NPO法人 NPOおたすけママくらぶ	理事	和泉 美輪（再）
8	留萌市小中学校校長会	事務局長	塚田 崇（再）
9	留萌市PTA連合会	会長	安達 仁（再）
10	留萌市青少年健全育成推進員協議会	研修組織部会 会長	鳴海 智恵（再）
11	留萌市民生児童委員連絡協議会	会長	長尾 保廣（再）
12	るもいママのふらっとひろば	代表	佐藤 愛莉（新）
13	NPO法人 留萌スポーツ協会	理事	中路 和也（再）
14	社会福祉法人 留萌市社会福祉協議会	事務局次長	鈴木 出（再）
15	連合北海道 留萌地区連合会	事務局長	野呂 照幸（再）
16	留萌商工会議所	指導課長代理	村山 慧星（再）

※順不同、敬称略（再）は再任、（新）は新規

「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

本文第1の「3 こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向け、こども・若者や子育て当事者の視点に立った数値目標（アウトカム）として、以下を設定する。

項目	目標	現状	出典
「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思う人の割合	70%	15.7% (2023 年) (注1)	こども家庭庁「こども政策の推進に関する意識調査」
「生活に満足している」と思うこどもの割合	70%	60.8% (2022 年) (注2)	OECD「生徒の学習到達度調査（PISA）」
「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合（自己肯定感の高さ）	70%	60.0% (2022 年) (注3)	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」 (注4)
社会的スキルを身につけているこどもの割合	80%	74.2% (2022 年) (注5)	OECD「生徒の学習到達度調査（PISA）」
「自分には自分らしさというものがある」と思うこども・若者の割合	90%	84.1% (2022 年) (注6)	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」
「どこかに助けてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合	現状維持	97.1% (2022 年) (注7)	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」
「社会生活や日常生活を円滑に送ることができている」と思うこども・若者の割合	70%	51.5% (2022 年) (注8)	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」
「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合	70%	20.3% (2023 年) (注9)	こども家庭庁「こども政策の推進に関する意識調査」
「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合	80%	66.4% (2022 年) (注10)	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」
「自国の将来は明るい」と思うこども・若者の割合	55%	31.0% (2018 年) (注11)	こども家庭庁「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」(注12)
「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合	70%	27.8% (2023 年) (注13)	こども家庭庁「こども政策の推進に関する意識調査」
「こどもの世話や看病について頼れる人がいる」と思う子育て当事者の割合	90%	83.1% (2022 年) (注14)	国立社会保障・人口問題研究所「生活と支え合いに関する調査」よりこども家庭庁作成

注1：16～49歳の回答結果。

注2：0～10の選択肢で7以上と答えた15歳の割合。OECD平均は61.4%（2022年）。

注3：15～39歳の回答結果。